

1年探究講演会

11月1日（水）5時限目、東京都立大学高大連携室長の河西奈保子先生をお招きして、1年生対象の探究講演会が行われました。本校では1年で「プレ課題研究」として、探究学習の基本を学び、2年生から個人の探究探究活動に入ります。

講演会では、現在の社会はどのようなで、そこで必要とされる力についてお話がありました。その上で探究学習を行う意味について説明がありました。

<これから必要とされる力>

● 社会の課題を自分で見つけ、解決法を提案できる力

- ・ 事実を正しく理解する力
- ・ 自分で考えて行動する力
- ・ 課題を解決するためにチャレンジする力

<探究学習とは>

- ・ 答えがない問いに、自分が正しいと思われる答えを導き出す
- ・ 自分が興味があることを深める
- ・ 解はないかもしれない
- ・ 調べるだけ・まとめるだけではない：中学の「総合」と違う
- ・ 自分から、仲間と一緒に取り組む

身の回りのことに関心や疑問を持つことから始まる

→ 主体的な高校生活 社会での課題解決(仕事)や 大学での学び(研究) へ→ 進路選択とも関係

講演の後半では探究学習の方法、特に「テーマ」の見つけ方、「問い」の立て方についてお話がありました。マインドマップの手法や探究に向かない問について学ぶことができました。最後に「問い立て」のワークを行いました。今後1年生はグループでの探究をしながら、個人の研究テーマを探す活動に入っていきます。

<探究学習の意義について学ぶ>

<問い立てのワーク>

